

埼玉県戸田市を俯瞰する

～研究会設立に至った戸田市が描くまちの将来像～

平成29年10月2日
第1回住民がつくるおしゃれなまち研究会資料

戸田市政策秘書室長 梶山 浩
(戸田市政策研究所副所長)



埼玉県戸田市の概要



「人の利」

- ・ 総人口
→ **137,320人** (平成29年1月)
- ・ 平均年齢
→ **40.2歳** (平成29年1月)
22年連続県内第1位
- ・ 高齢化率
→ **15.7%** (平成29年1月)
- ・ 年間人口流動 (平成28年中)
→ **転入10,568人 転出9,231人**

「地の利」

- ・ 戸田公園駅⇔新宿駅 埼京線で**約20分**
- ・ 東京外郭環状道路美女木ジャンクションを起点。東北道⇔常磐道⇔関越道⇔中央道⇔東名道の**すべてに連結**

「地域資源」

- ・ 昭和39年東京五輪の漕艇会場「**戸田漕艇場**」があり、周辺には大学等の艇庫や合宿所が立ち並ぶ(27か所)

「財政力」

- ・ 平成29年度当初予算額(一般会計) **500億3千万円**
- ・ 普通地方交付税不交付団体 **35年連続**
- ・ 単年度財政力指数(平成29年度) **1.234**

平成27年国勢調査

人口増減数の多い市町村の人口及び人口増減数（平成22年～27年）

人口増減率の高い市町村の人口及び人口増減率（平成22年～27年）

順位	人口増加数の多い市町村		順位	人口増減率の高い市町村			
	人口(人) 平成27年	増加数(人) 平成22年～27年		人口(人) 平成27年	増加率(%) 平成22年～27年		
1	特別区部 (東京都)	9,272,565	326,870	1	新宮町 (福岡県)	30,339	22.9
2	福岡市 (福岡県)	1,538,510	74,767	2	十島村 (鹿児島県)	758	15.4
3	川崎市 (神奈川県)	1,475,300	49,788	3	大和町 (宮城県)	28,252	13.5
4	さいたま市 (埼玉県)	1,264,253	41,819	4	与那原町 (沖縄県)	18,429	12.9
5	札幌市 (北海道)	1,953,784	40,239	5	与那国町 (沖縄県)	1,843	11.2
6	横浜市 (神奈川県)	3,726,167	37,394	6	長久手市 (愛知県)	57,593	10.7
7	仙台市 (宮城県)	1,082,185	36,199	7	戸田市 (埼玉県)	136,083	10.6
8	名古屋市 (愛知県)	2,296,014	32,120	8	つくばみらい市 (茨城県)	49,146	10.5
9	大阪市 (大阪府)	2,691,742	26,428	9	昭和町 (山梨県)	19,507	10.5
10	広島市 (広島県)	1,194,507	20,664	10	東神楽町 (北海道)	10,231	10.1
11	吹田市 (大阪府)	374,526	18,728	11	中城村 (沖縄県)	19,452	10.0
12	川口市 (埼玉県)	578,245	16,739	12	朝日町 (三重県)	10,563	9.7
13	藤沢市 (神奈川県)	424,103	14,446	13	富谷町 (宮城県)	51,592	9.7
14	船橋市 (千葉県)	622,823	13,783	14	阿久比町 (愛知県)	27,767	9.0
15	戸田市 (埼玉県)	136,083	13,004	15	八重瀬町 (沖縄県)	29,084	9.0
16	つくば市 (茨城県)	227,029	12,439	16	菊陽町 (熊本県)	40,996	8.6
17	越谷市 (埼玉県)	337,562	11,249	17	小笠原村 (東京都)	3,023	8.5
18	千葉市 (千葉県)	972,639	10,890	18	粕屋町 (福岡県)	45,371	8.0
19	流山市 (千葉県)	174,417	10,433	19	大津町 (熊本県)	33,480	7.2
20	柏市 (千葉県)	414,054	10,042	20	沖縄市 (沖縄県)	139,315	7.0

注) 原子力災害により、全域が避難指示区域である町村を除く。

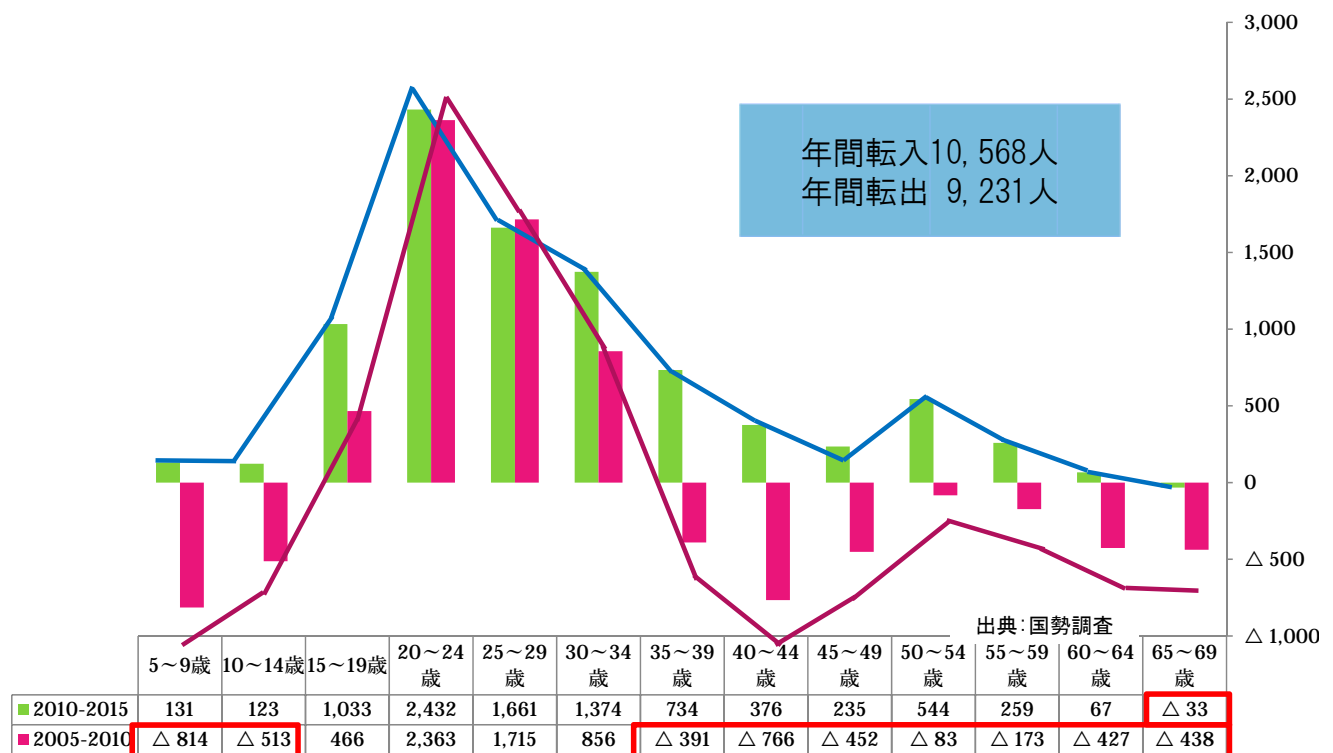
出典：平成27年国勢調査（一部加工）

平成29年10月2日

戸田市

5歳階級別人口データから分析するムーブメント

(平成17年～22年/平成22年～27年)



平成29年10月2日

戸田市

戸田市政策研究所の設置経緯

前提：

人口争奪戦とも言える都市間競争の時代を勝ち抜くためには市全体の政策形成力の向上が不可欠な要素になる(＝特に若手職員の人材育成)



- ◆ 平成20年度の大規模組織改正により設置
- ◆ ❖ トップマネジメント機能の強化
- ◆ ❖ トップ層の政策決定の補佐機能充実
 - ⇒ 平成20年度に戸田市政策研究所設置(市長直轄組織)
- ◆ 目的: 市政に関する総合的な調査研究を行うため、
 - ① 市の政策及び施策の調査研究
 - ② 市の政策及び施策の提言
 - ③ 市長公約の進行管理
 - ④ 市長公約と行政計画との整合
 に関することを所掌事務とする
(戸田市政策研究所設置要綱)
- ◆ 研究テーマ: ❖ 中・長期的行政課題
 - ❖ 未着手の行政課題
 - ❖ 今後行政として何らかの対応を要すると思われる事項

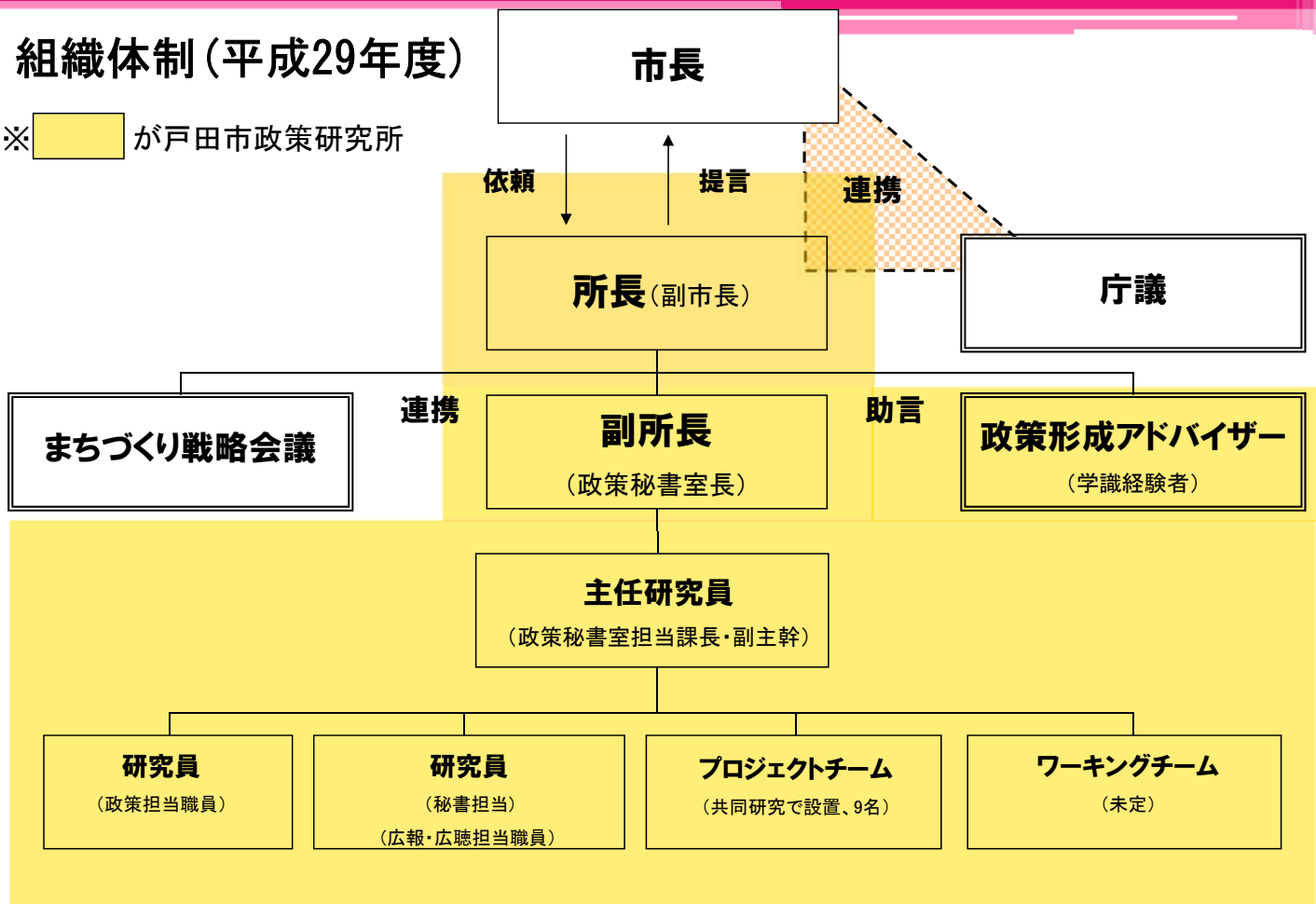
平成29年10月2日

戸田市

7

組織体制(平成29年度)

※ が戸田市政策研究所

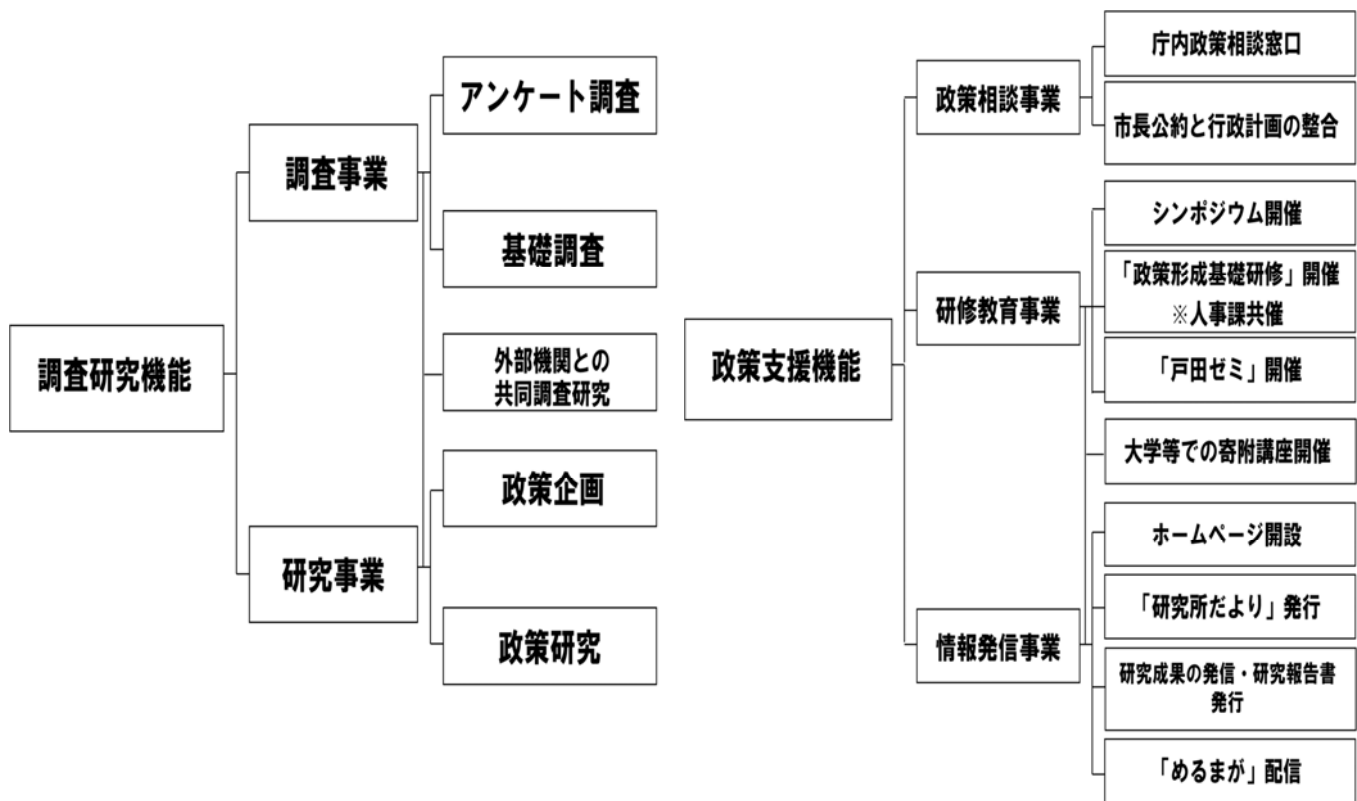


平成29年10月2日

戸田市

8

2つの機能と5つの事業



平成29年10月2日

戸田市

9

大都市近郊型自治体の価値を高める6要件

- 1 Convenience(便利) 評価: ★★★★★
職場や学校への移動が短時間ででき、買い物などの利便性が高いまち
- 2 Environment(環境) 評価: ★★★★★
都市基盤が整備され利便性が高いにもかかわらず、身近に緑と水を感じることのできる環境が存在する快適なまち
- 3 Safety(安全) 評価: ★★★ ←取組中
犯罪や交通事故が少なく、万全な防災体制が準備されている安全なまち
- 4 Medical care(医療) 評価: ★★★★★
子供から高齢者までの医療体制が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせるまち
- 5 Education(教育) 評価: ★★★★★
質の高い子育て支援サービスが提供されるとともに先進的独自の教育が展開され、高いレベルと安定的な学力が約束されるまち
- 6 Sophisticated(洗練) 評価: ★★★ ←平成29・30年度調査研究
シンプルかつデザイン化された街並みと、文化や芸術で洗練されたまち

平成29年10月2日

戸田市

10

芽生えつつあるおしゃれな空間・イベント



音色光香

平成29年10月2日

戸田市

11

戸田市の描くおしゃれなまちの将来像

- ① 彩湖・道満グリーンパーク、戸田ボートコース、笹目川などの水辺環境を活かし都会の喧噪から解放される**憩いの空間**がある都市
- ② 休日に若い女性が好んで訪れる**華やかさとムーディーな雰囲気**を併せ持つ都市
- ③ 若者たちの自由な発想が尊重され、起業やイベント開催など**寛容性と多様性**のある都市
- ④ すべての世代のライフスタイル実現が保障され、日々の**生活が充実**する都市 など

これらを戸田市版の「おしゃれ」要素に位置づけ、おしゃれなまちの実現に向け、市主導でなく市民がまちづくりを企画・運営する機運を高める。そして、参画意識が高まることでシビックプライドの醸成を育み、ひいては、交流・定住人口の増加が期待される。

また、今回の共同研究に基づく実践的な取り組みを、全国へ発信・普及できるように汎用性を確保する。

平成29年10月2日

戸田市

12